



優良住宅部品性能試験方法書

Methods of Testing Performance for
Quality Housing Component

浴槽

Bathtubs

BLT BT:2013

2013年4月30日公表・施行

一般財団法人 **ニゴ-リビ-ン**

I 性能試験項目

優良住宅部品評価基準において、試験により性能等を確認する項目並びに試験方法等は下表によるものとする。

性能試験項目	性能試験方法	備考	頁
1. 保温試験	JIS A1718:2011 (浴槽の性能試験方法)の5.10「保温試験」		—
2. 排水栓の止水試験	JIS A 1718:2011 (浴槽の性能試験方法)の5.7.1「止水試験A」		—
	JIS A 1718:2011 (浴槽の性能試験方法)の5.7.2「止水試験B」		—
	JIS A 1718:2011 (浴槽の性能試験方法)の5.7.3「止水試験C」		—
3. 満水時の変形試験	JIS A 1718:2011 (浴槽の性能試験方法)の5.2「満水時の変形試験」		—
4. 砂袋衝撃試験	JIS A 1718:2011 (浴槽の性能試験方法)の5.3「砂袋衝撃試験」		—
5. 落球衝撃試験	JIS A 1718:2011 (浴槽の性能試験方法)の5.4「落球衝撃試験」		—
6. 底面の載荷試験	JIS A 1718:2011 (浴槽の性能試験方法)の5.6 a)「底面の載荷試験」		—
7. 上縁面の載荷試験	JIS A 1718:2011 (浴槽の性能試験方法)の5.6 b)「上縁面の載荷試験」		—
8. 排水器具の引張試験	JIS A 1718:2011 (浴槽の性能試験方法)の5.17「排水器具の引張試験」		—
9. エプロン面の変形試験	JIS A 1718:2011 (浴槽の性能試験方法)の5.1「エプロン面の変形試験」		—
10. 浴槽ふたの安全性試験	CPSA0017:2007「プラスチック浴槽ふたの認定基準及び基準確認方法」		—
11. 煮沸試験	JIS A 1718:2011 (浴槽の性能試験方法)の5.5「煮沸試験」		—
12. 耐酸性試験	BLT BT-01		1
13. 耐アルカリ性試験	BLT BT-02		2
14. 汚染試験	JIS A 1718:2011 (浴槽の性能試験方法)の5.8「汚染試験」		—

II 試験体

試験体の種別、形状、個数については性能試験方法で示すとおりとする。ただし、個数の下限は当財団の判断によるものとする。また、試験体は認定申請時に提出された設計図書の図面、仕様書の内容と同一のものであることとし、差異のある場合は、追加試験の要請もあり得る。

III 試験結果の提示

定量的に表示しうるものは図表化を図ること。また、外観観察については具体的に、何が、いつ、どのような状態になったかを試験目的にそって簡潔に記述すること。なお、試験体、試験装置は詳細図を添付し、また、試験結果を示すのに有効な場合は写真を添付すること。

優良住宅部品性能試験方法書（浴槽）

(1) 試験方法名称		耐酸性試験	試験番号	BLT BT-01
(2) 関連要求項目および性能		1.3 耐久性の確保のb)浴槽の耐酸性		
(3) 試験の目的		浴槽の酸に対する耐久性を確認する。		
(4) 試験体		種別 レベル	浴槽本体内側より採取した試験片または同一の材料 (大きさ約7×7cm) (試験対象：ほうろう浴槽、FRP浴槽)	個 数 1
(5) 試験方法	(5-1) 試験機 試験装置 測定装置	HB鉛筆(JIS S 6006)、エチルアルコール(JIS K 8102) ろ紙(JIS P 3801)、クエン酸(JIS K 8283)、ガーゼ(日本薬局方) バーコル硬度計A(JIS K 7060)、塩酸(JIS K 8180)		
	(5-2) 試験体の 前処理方法・条件	—		
	(5-3) 試験方法の詳細	<p>[ほうろう浴槽]</p> <p>試験体の表面をエチルアルコールで清拭し、JIS P 3801 に規定する2種で約30×30mmの大きさのろ紙を3枚重ねて置き、10%クエン酸溶液(特級結晶クエン酸10gを純水100mlに溶解して調整したもの)をスポイトで滴下して常温で15分間放置する。ろ紙を取り去り水洗いし乾いた布で拭く。その後、硬度HBの鉛筆で試験面に数本の線を強く押して書く。水中に浸して硬く絞ったガーゼでこの線マークをこすり取り、線マークの有無および光沢の変化を調べる。</p> <p>[FRP浴槽]</p> <p>試験体表面に常温で3%塩酸(試薬特級)を約1ml滴下して常温で1時間放置する。その後、水で洗浄した後に試験体表面のひび割れ、ふくれなどの異状の有無を調べる。さらに、JIS K 7060 に規定するバーコル硬度計(A形式)を用いて、試験体表面の10カ所の硬度を測定し、その平均値を求める。</p>		
(6) 試験結果の表示		<p>[ほうろう浴槽] 線マークの有無および光沢の変化</p> <p>[FRP浴槽] 表面の状態およびバーコル硬度</p>		
(7) 注意事項				

優良住宅部品性能試験方法書（浴槽）

(1) 試験方法名称	耐アルカリ性試験	試験番号	BLT BT-02
(2) 関連要求項目 および性能	1.3 耐久性の確保のc)浴槽の耐アルカリ性		
(3) 試験の目的	浴槽のアルカリに対する耐久性を確認する。		
(4) 試験体	種別 レベル	浴槽本体内側より採取した試験片または同一の材料 (大きさ約7×7cm) (試験対象：ほうろう浴槽、FRP浴槽)	個 数 1
(5) 試 験 方 法	(5-1) 試験機 試験装置 測定装置	HB鉛筆(JIS S 6006)、エチルアルコール(JIS K 8102) ろ紙(JIS P 3801)、炭酸ナトリウム(JIS K 8625)、ガーゼ(日本薬 局方) バーコル硬度計A(JIS K 7060)、水酸化ナトリウム(JIS K 8576)	
	(5-2) 試験体の 前処理方法・条件		
	(5-3) 試験方法の詳細	<p>[ほうろう浴槽]</p> <p>試験体の表面をエチルアルコールで清拭し、JIS P 3801 に規定する2種で約30×30mmの大きさのろ紙を3枚重ねて置き、10%炭酸ナトリウム溶液(特級無水炭酸ナトリウム10gを純水100mlに溶解して調整したもの)をスポイトで滴下して常温で15分間放置する。ろ紙を取り去り水洗いし乾いた布で拭く。その後、硬度HBの鉛筆で試験面に数本の線を強く押して書く。水中に浸して硬く絞ったガーゼでこの線マークをこすり取り、線マークの有無および変色を調べる。</p> <p>[FRP浴槽]</p> <p>試験体表面に常温で5%水酸化ナトリウム溶液(試薬特級)を約1ml滴下して常温で1時間放置する。その後、水で洗浄した後に試験体表面のひび割れ、ふくれなどの異状の有無を調べる。さらに、JIS K 7060 に規定するバーコル硬度計(A形式)を用いて、試験体表面の10カ所の硬度を測定し、その平均値を求める。</p>	
(6) 試験結果の表示	<p>[ほうろう浴槽] 線マークおよび変色の有無</p> <p>[FRP浴槽] 表面の状態およびバーコル硬度</p>		
(7) 注意事項			